

第10回 日本海洋人間学会 学会大会 (第1報)

新型コロナウイルス感染拡大抑止の観点より、第10回学会大会は当初開催予定の2021年9月25日(土曜日)、26日(日曜日)から、2021年9月25日(土曜日)のみに期間を縮小し、遠隔会議システム(Zoom)によるリアルタイム方式にて開催します。

■期日：2021年9月25日(土曜日)

■開催形態：遠隔会議システム(Zoom)によるリアルタイム方式

■プログラム予定

9:00~12:00	一般研究発表・実践報告 ※いずれも口頭発表のみ
13:00~15:30	第10回大会シンポジウム ※現在、以下の内容について検討中 ・海部陽介先生(東京大学総合研究博物館・教授)による、台湾から与那国島までの丸木舟実験航海「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」に関するご講演 ・日本海洋人間学会 歴代会長による、「海洋人間学」に関するこれまでの振り返りと今後の展望などをテーマとした鼎談
15:30~16:30	第10回総会

※上記プログラムは暫定的なものであり、今後変更される可能性もあります。

■大会事務局

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

東京海洋大学内「日本海洋人間学会」

e-mail: jsmta@jsmta.jp URL: <https://www.jsmta.jp> TEL/FAX: 03-5463-0638

問い合わせは、e-mailにて、お願い致します。

大会参加について

①本学会会員の参加希望の方へ

2021年度(2021年8月1日~2022年7月31日)分の年会費(正会員6,000円、学生会員3,000円、賛助会員 一口20,000円)を2021年9月10日金曜日までに納めた会員へ、学会大会 ZoomURL とパスワードを学会大会の数日前にメールにてご連絡します。

②本学会会員以外の参加希望の方へ

正会員からの紹介を経ること、ならびに参加費2,000円を2021年9月10日金曜日までに納入頂くことを条件に、臨時会員として参加可能です。正会員からの紹介に関しては、必ず紹介者である正会員が第10回学会大会実行委員長(藤本浩一)のメールアドレス(ローカルパート:kfujim1, ドメイン:kaiyodai.ac.jp)へ2021年9月10日金曜日までに、臨時会員希望者の氏名およびメールアドレスを連絡して下さい。臨時会員として承認を受けた後、上記①と同様、学会大会 ZoomURL とパスワードを学会大会の数日前にメールにてご連絡します。

③注意事項

・ZoomURL およびパスワードは漏洩しないよう、徹底した管理をお願いします(本件もあり、情報の送付は学会大会の数日前となりますことを、予めご了承ください)。学会中の Zoom 画面のスクリーンショット撮

影ならびに動画撮影、音声録音は不可とします。また、Zoom 画面の画像や音声については、ZoomURL およびパスコードが付与された方以外は、視聴できないような環境の確保にご協力下さい。

・上記①の会員の年会費、ならびに②の臨時会員の参加費の納入期限は、いずれも 2021 年 9 月 10 日金曜日までとなっております。期限を過ぎての納入（振込）に関しては、ZoomURL およびパスコードを送付できない場合もありますので、ご注意願います。

年会費、発表料、および参加費（臨時会員）の納入は、以下の学会口座への振込にてお願い致します

ゆうちょ銀行

口座名義：日本海洋人間学会

口座番号：00150-6-429943

インターネットバンキング

銀行名：ゆうちょ銀行

・金融機関コード:9900

・店番:019

・預金種目:当座

・店名:〇一九 店（ゼロイチキョウ店）

・口座番号:0429943

各種振込時のお願い

・郵便局の振込用紙をご利用の場合は、振込金額の種別を通信欄にご記入ください。

（記入例：2021 年会費として）

・インターネットバンキングをご利用の場合は、振込人氏名の前に振込金額の種別をご入力ください。

（記入例：2021 ネンカイヒカイヨウタロウ）。

優秀発表賞、奨励発表賞の選考

第 10 回学会大会における一般口頭発表については、優秀発表賞と奨励発表賞の選考を実施します。受賞演題の発表は、集計・確認作業を経た後日とし、可能な限り速やかに学会 HP にて行います。なお、受賞者には受賞を証明する書類の電子ファイル等を、発表後ただちに送付し、実際の賞状の授与は、次年度以降開催の対面形式による学会大会にて実施します。

一般研究発表・実践報告の演題募集要項

第10回大会では、「研究発表」と「実践報告（事例、調査、視察、事業、活動など）」の2種類について、いずれも口頭発表のみを募集します。

抄録は、筆頭発表者が、2021年度（2021年8月1日～2022年7月31日）年会費（正会員6,000円、学生会員3,000円、賛助会員 一口20,000円）を2021年8月23日月曜日までに納めた本学会会員である場合に限って受け付けます。また、発表筆頭者である正会員1名のみ、発表料として1,000円を2021年8月23日月曜日までに納入してください（発表筆頭者である学生会員の発表料は無料です）。なお、共同研究者については、本学会の会員であるかは問いません。

！！学会大会参加希望者の年会費等納入期限である2021年9月10日金曜日よりも、発表者の各種納入期限は早め（2021年8月23日月曜日）に設定されておりますので、十分ご留意ください！！

抄録原稿の作成・提出要領

抄録原稿は、以下の1～9の要領に沿って作成願います。学会HPよりテンプレートファイル（ファイル名「jsmta10th_abstract_template.docx」）がダウンロードできますので、このファイルに上書きする形での作成を推奨します。

1. 抄録サイズ：A4版縦置きによる2段組の半頁（1段）とします。余白は上下25mm、左右20mm設けて下さい。
2. 原稿文字数・行数：文字数はおよそ1000字以内とします（1行あたり25字×40行以内）。共同研究者が多い場合は、原稿文字数・行数を適宜減らして2段組の半頁に収まるように調整してください。また抄録には、規程文字数内で余白がある場合も、図・表および写真の添付は不可とします。
3. 文字種（フォント）：演題のみゴシック体、それ以外のキーワード、氏名、所属機関名、本文は、明朝体で記載して下さい。文字サイズは、全て10ポイントで記載して下さい。
4. 演題：演題は原稿の1行目から記載して下さい。
5. 発表者氏名：演題の次行から記載し、（）内に所属機関名を記載して下さい。共同発表者がいる場合は同様の方法で連記して下さい。同所属の発表者が続く場合は、氏名間を「・」を用いて連記し、最後に所属を括弧書きで記入して下さい。
6. キーワード：発表者氏名の次行に発表内容を象徴する2～5個を記載して下さい。
7. 本文：キーワードの次行から記載して下さい。「研究発表」は目的、方法、結果、考察、結論等の項目名を必ず付けて本文を作成して下さい。「実践報告」も適切な項目名を付けて本文を作成して下さい。
8. 抄録原稿の取り扱い：原則として校正を行わず、そのまま抄録集に掲載しますので、完全原稿を送付して下さい。送付いただいた原稿は返却できませんので、あらかじめご了承ください。
9. 抄録原稿の送付方法：テンプレート（推奨）を用いて作成したワードファイルおよびPDF形式に変換したファイルの2つをメールにてご提出ください。なお、送信メールの「メール件名」および「ファイル名」は必ず下記の例のようにお願いします。

例1：抄録0a_海洋太郎 例2：抄録0b_海洋太郎
※口頭発表→0（アルファベットのオー） 研究発表→a 実践報告→b

抄録メール送信締切日時：2021年8月23日（月曜日）23時59分

メール送信先：藤本浩一（第10回学会大会実行委員会委員長）

メールアドレス（ローカルパート：kfujim1, ドメイン:kaiyodai.ac.jp）

ご使用の際には、ローカルパートとドメインの間に@を入れてください

！！上記の作成・提出要領に沿わない抄録原稿は、受け付けることができない場合があります！！

発表者の方へ

1. 発表者は、ご自身の発表の前までに必ず大会用 ZoomURL にアクセスしてください。
2. 発表は、ご自身のパソコン上で操作する PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトウェアで作成したファイルを、Zoom の画面共有機能を用いて共有しながら実施してください。
3. 発表の持ち時間は、13 分（発表 10 分、質問 3 分）です。呼び鈴は 8 分に 1 回、10 分に 2 回、13 分に 3 回鳴ります。**発表時間を厳守して下さい**。持ち時間の 13 分を経過した場合は、その場で発表を打ち切って頂くこともあります。
4. PowerPoint 等で作成したファイルへの動画の埋め込みは、Zoom 画面共有上では、視聴する側の動画の再生コマ数が格段に低下するため、学会大会実行委員会としては推奨しませんが、各自のご判断にて使用をご検討ください。
5. 学会でのオンライン発表は、著作権法上「公衆送信」とみなされます。公衆送信権を侵害しないために、プレゼンテーションファイル作成の際は、以下の件について十分ご注意ください。また、判断が難しい場合は、別途、第 10 回学会大会実行委員長（藤本浩一）までメールにてお問い合わせください（ローカルパート：kfujim1, ドメイン:kaiyodai.ac.jp）。
 - (1) 他者が著作権を有する写真・映像は使わないこと。
 - (2) 他者が著作権を有する音楽は流さないこと。
 - (3) 著作権／著作隣接権の許諾が不明または曖昧な写真・映像は使用しないこと。
 - (4) 社寺仏閣(特にご注意ください)、美術工芸品、人物（本人の承諾がある場合を除く）などの写真や映像は、発表者自身の撮影であっても使用しないこと。
 - (5) 引用に際しては、次の「引用の三要件」を遵守すること。
 - ・ 引用部分をクォーテーションマークなどで明確に表示すること。
 - ・ 引用部分を最小限とし、発表ファイルのオリジナル部分が大半であること。
 - ・ 出典を明示すること（著作権者、著作物の名称、発表年、発表媒体等）。
 - (6) 出版物等の図や表の引用は配信に使用できない場合があるので注意すること。
 - (7) クリエイティブ・コモンズ・ライセンスが表示されているものについては、その指示を遵守すること。